

| | |
|---------------------------------|---|
| 授業科目名 | 初等家庭 |
| 科目番号 | CB23691 |
| 単位数 | 1.0 単位 |
| 標準履修年次 | 2 年次 |
| 時間割 | 夏季休業中集中 |
| 担当教員 | |
| 授業概要 | 参加型の学習形態を中心として、必要に応じて講義形式により授業をすすめる。生活に関わる科学的事象、社会的事象を理解するために調査研究活動を行い、小学校家庭科の対象領域の全容を理解する。 |
| 備考 | 小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 詳細後日周知 対面 |
| 授業方法 | 講義 |
| 学位プログラム・コンピテンスとの関係 | 教育学の基礎的体系的知識、教育学的実践力 |
| 授業の到達目標（学修成果） | 家庭科教育が生活に関わる教科であることを理解することができる。生活に関わる事象について、小学校段階で必要とする知識と技能を習得することができる。生活に関わるモノ、ヒト、コトについてその関連を理解することができる。 |
| 授業計画 | 第1回 生活を見つめなおす(家庭科の学びの要点) 第2回 食べる(からだと心の健康をつくる基礎) 第3回 着る(気候にあわせ、私を表現する衣生活の基礎) 第4回 住まう(住環境を整えるための基礎) 第5回 消費する(賢い消費者となるための基礎) 第6回 地域にやさしく暮らす(環境に配慮した暮らしを理解する基礎) 第7回 家族・家庭とともに暮らす(人と関わり、人と繋がるスキルを磨く基礎) 第8回 生活を科学する(科学的な視点を持って暮らすこと) 第9回 食べることと食育(家庭科と他教科との関連) 第10回 社会とヒト・モノをつなぐ家庭科(社会に生きる人を育てる家庭科教育について) |
| 成績評価方法 | 出席状況、レポート、模擬授業への準備・取り組み及び実践などで総合的に評価する。 |
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法 | |
| 教材・参考文献・配付資料等 | 1. 鶴田敦子・伊藤葉子編著『授業力UP 家庭科の授業』(日本標準, 2009年) |
| オフィスアワー等(連絡先含む) | |
| その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等) | 小学校教諭免許取得に向けて意欲的に学ぶこと。 |
| 他の授業科目との関連 | |
| ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA) | |
| キーワード | 小学校, 家庭 |